

経営 大震災に伴う東日本での電力逼迫への対応

東北電力(株)管内の釜石製鉄所では、東日本大震災によりIPP(東北電力への卸電力設備が緊急停止し、現在も操業を停止していますが、7月初旬の再稼働に向けて準備を進めています。

また東京電力(株)管内の君津製鉄所では、自家発電設備および東京電力との共同出資による君津共同火力発電所を稼働していますが、震災後速やかに定格出力を回復しました。

今後予想される東日本での夏期需要ピーク時の需給逼迫に対しては、従来の省電力に加えて、電力供給・需要両面で次のような対策を実施してまいります。

①供給面での対策

東北電力管内の釜石IPPの再稼働に加え、東京電力管内では、全ての発電設備について、燃料となる副生ガスの安定的・優先的な供給を図りながら最大運用を行い、東京電力系統への最大限の電力供給を図ります。また能力に余裕のある発電設備については、一時的な増出力運転を行います。

②需要面での対策

震災地復興やお客様への鋼材供給に影響を与えないよう配慮しつつ、生産の最大限のピークシフトを行います。具体的には、生産ラインの計画休止を極力、電力需要期に集中配置し、また可能な限りの夜間シフトを実施し、新日鉄グループ全体で最大限の対応をします。

総務部広報センター

▲03-6867-2135
2135・2146・2147

経営・グループ

**炭化ケイ素単結晶ウエハ
米社と相互ライセンス契約
新日鉄マテリアルズ(株)が
生産能力を3倍増強**

新日鉄と米国クリー社は、両社が全世界で保有する炭化ケイ素(SiC)単結晶ウエハおよびSiC単結晶エピタキシャルウエハにかかわる特許に関する相互ライセンス契約を締結した。トップレベルのSiCウエハ技術を持つ両社がそれぞれ保有する特許を相互に適用することが可能となり、SiCデバイス市場の拡大やエレクトロニクス産業の活性化に大きく寄与するものと期待される。

また新日鉄マテリアルズ(株)は、口径4インチ以下のSiC単結晶ウエハの生産能力を、2012年3月末までに現状の約3倍に当たる月産10000枚まで段階的に引き上げる。

総務部広報センター

▲03-6867-2135



技術

**原油タンカー用厚鋼板が
市村産業賞貢献賞を受賞
世界初の船級承認を取得**

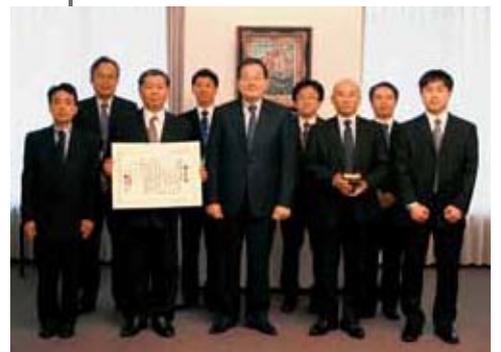
新日鉄と日本郵船(株)が世界で初めて開発・実用化した原油タンカー用高耐食性厚鋼板「NSGP®-1」※が、(財)新技術開発財団の第3回(平成22年度)市村産業賞貢献賞を受賞した。

また世界で初めて、IMO(国際海事機関)耐食鋼性能基準を満たす原油タンカーの貨物タンク底板用として、(財)日本海事協会から承認された。これにより防食が義務づけられる原油タンカー貨物タンクに対し、正式に塗装レスで使用できることとなった。

※ NSGP(Nippon Steel Green Protect)は新日鉄の登録商標

総務部広報センター

▲03-6867-2135



技術

**重荷重鉄道用レール開発が
文部科学大臣表彰
科学技術賞を受賞**

新日鉄が開発した「重荷重鉄道用高耐摩耗耐内部疲労損傷性レール」が、2011(平成23)年度文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞した。本賞は科学技術に関する開発、理解増進などにおいて顕著な成果を収めたものの功績を讃える賞であり、当社は2007年度以来の受賞。

当社は2007年度以来の受賞。



総務部広報センター

▲03-6867-2146

紀尾井ホール
新日鉄文化財団
公演ご案内

紀尾井シンフォニエッタ東京
第80回 定期演奏会
ベートーヴェン：
幻想合唱曲、交響曲第9番

7月15日(金)／19:00
16日(土)／14:00



ハルトムート・ヘンヘン © G.Mothes

『第九』=「年末」をイメージされる方が多いかもしれません。なぜでしょう。ドイツで大晦日に演奏する習慣が日本に持ち込まれたという説をはじめ、調べれば調べるほど興味深い説が出てきますが、「いつの間にか年末に定着していた」というのが実際のようなのです。ゆえに、『第九』は必ずしも年末のものではありません！7月、紀尾井シンフォニエッタ東京創立15周年のラストにふさわしく、エネルギーで喜びに満ちた『第九』を響かせます。「真夏に聴く第九」お聴き逃しなく。

スケジュール

8月3日(水)／18:30

紀尾井 江戸 邦楽の風景(五)四谷

新内「蘭蝶」

講談「四谷怪談」

鈴木理生、竹内道敬(対談)、新内剛士(浄瑠璃)、新内伸三郎(三味線)、一龍斎貞心(講談)

9月16日(金)／19:00

9月17日(土)／14:00

紀尾井シンフォニエッタ東京
第81回定期演奏会

指揮・ヴァイオリン：ライナー・ホーネック

モーツァルト：ロンド ハ長調KV373

シューベルト：交響曲第3番

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第14番(弦楽合奏版)

お問い合わせ・チケットのお申し込み先
紀尾井ホールチケットセンター(日・祝休)

TEL 03-3237-0061

http://www.kioi-hall.or.jp

経 営

ブラジル・ウニガル社新ライン竣工式を開催

新日鉄とウジミナス社との自動車用溶融亜鉛めっき製造合弁会社であるウニガル社は、第2ラインを完成させ、5月18日に竣工式を行った。当社とウジミナス社は、今後もウニガル社を通じ、自動車用鋼板を中心とする高級鋼を安定的に供給することで、ブラジルおよび南米の経済発展に寄与し、両社の企業価値の一層向上に努める。

総務部広報センター
▲03-6867-2135
2135・2146・2147



竣工式の様子。左から Brumer ウジミナス社長、谷口 新日鉄副社長、三輪 在ブラジル日本国大使

経 営

中国・武漢鋼鉄と
ブリキ製造・販売会社
設立に合意

新日鉄と武漢鋼鉄(集団)公同は、中国湖北省武漢市にブリキ製造・販売の合弁会社「武鋼新日鉄(武漢)ブリキ有限公司」を設立することに合意した。新日鉄は本合弁事業により、

総務部広報センター
▲03-6867-2135
2135・2146・2147

武鋼が持つ中国での事業基盤と新日鉄が持つ世界最高水準の技術とを融合させ、現地の伸びゆくブリキ需要を捕捉し、ブリキ製品の提供を通じて中国の経済発展に貢献していく。投資総額は約240億円。工場は2013年夏に稼働予定。

製 品

インドネシアで
現地メーカーと共同で
鋼構造セミナーを開催

新日鉄は4月7日、インドネシア・ジャカルタで、建築分野での鋼構造に関するセミナーをクラカタウ・スチールと共催した。本セミナーにはインドネシアの政府関係者、バンドン工科大学など学識経験者、建設業界の関係者約200人が参加した。インドネシアでは高層ビルや工場建築の増加が見込まれており、同国の経済発展を支える鋼構造の普及に今後とも貢献していく。

総務部広報センター
▲03-6867-2146



グループ

タイサイアム・
ユナイテッド・スチール
TPM優秀継続賞を受賞

タイの冷延鋼板メーカー、サイアム・ユナイテッド・スチール(SUS)は、2010年度TPM優秀継続賞を受賞した。TPM活動は(社)日本プラントメンテナンス協会が開発したプログラムで、あらゆる部門にわたって全員参加により全社的な管理を展開し、「災害ゼロ、不良ゼロ、故障ゼロ」を目標に生産システムの効率化を極限まで追求する企業体質づくりを進める活動。SUSは2005年からこの活動

総務部広報センター
▲03-6867-2135



に取り組み、2008年度のTPM優秀賞に引き続き受賞した。

総務部広報センター
▲03-6867-2135

日鉄商事コイルセンター(株)、大阪鋼板工業(株)、(株)三井物産コイルセンター。統合新会社における出資比率は日鉄商事61%、三井物産スチール25%、新日鉄14%の予定。統合予定定期日は今年10月1日。

グループ

コイルセンター事業の
統合に基本合意

新日鉄、日鉄商事(株)、三井物産(株)、三井物産スチール(株)は各社のコイルセンター事業の統合・再編について基本合意し、4月27日に覚書を締結した。統合対象となるコイルセンターは